

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態				
					講義	演習	実習	その他	
公民	公共	2	1	必修	○	○		○	
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など						
教科書、タブレット			法、政治、経済を学ぶ。探究活動を高校生活を通して行いたいと希望する場合、導入的意義を持つ。成果物を利用しコンテスト提出を行うため総合型選抜の一助となる。						
科目概要	法、政治、経済などの社会のシステムについての基本的知識を身につけて、社会研究（グループワーク）、研究発表などの現代の諸課題を追及したり解決したり活動を行う。		知識技能	・法、政治、経済などの基本的知識を身につける。 ・思考、判断の手掛かりとなる考え方や原理を理解する。					
	1. 公共の扉 ア 公共と人 イ 公共と倫理 ウ 公共の基本原則 2. 現代社会の諸課題 ア 法 イ 政治 ウ 経済 エ 情報 3. 持続可能な社会へ ア SDGs イ 社会研究（グループワーク）			思考判断表現	・法や倫理などの原理を活用し、多面的・多角的に社会問題を考察し、文章等により表現する。 ・合意形成を視野に入れながら、グループにおいて議論する。				
					主体的態度	・身近な社会課題に関心を持ち、グループワークにおいて他者との協働を大切にしながら積極的に取り組む。			
前年度履修すべき科目		なし	評価方法	・期末考査 ・小テスト ・提出物 ・授業への取り組み（ルーブリック評価）					
継続して履修すべき科目		なし							

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態				
					講義	演習	実習	その他	
地理歴史	地理総合	2	2	必修	○	○		○	
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など						
教科書、地図帳、タブレット			自然地理、地誌だけではなく、国際理解、SDGsや世界的課題についても学ぶ。授業の成果物を利用しコンテスト提出を行うため総合型選抜の一助となる。						
科目概要	地図の読解・活用の能力、生活・文化の多様性についての基本的知識を身に付け、グループワーク、研究発表など地球的課題を追及したり解決をめざす活動を行う。		知識技能	・世界の地形や気候、生活文化、地球的課題についての基礎知識を身に付ける。 ・地図や諸資料を読解し、活用する。					
	1. 地図でとらえる現代世界 ア 地図と地理情報システム イ 国家と領域、グローバル化 2. 生活文化の多様性と国際理解 ア 地形・気候と生活 イ 言語と宗教と生活 ウ 歴史的背景と生活 エ 産業と生活 オ 地球的課題と国際協力 カ 持続可能な社会に向けて（探究） 3. 生活圏の調査と地域の展望 ア 自然環境と防災 イ 生活圏の調査（探究）			思考判断表現	・人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察し、説明し、表現する。 ・合意形成を視野に入れながら、グループにおいて議論する。				
					主体的態度	・地球的課題や国際協力に関心を持ち、他者との協働を大切にしながら自分事として学習をすすめている。			
前年度履修すべき科目		なし	評価方法	・期末考査 ・小テスト ・提出物 ・授業への取り組み（ルーブリック評価）					
継続して履修すべき科目		なし							

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態				
					講義	演習	実習	その他	
地理歴史	歴史総合	2	3	必修	○	○		○	
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など						
教科書、タブレット			世界史・日本史における近現代史を中心に学ぶ。世界遺産検定や論文コンクールに挑戦できる。						
科目概要	資料読解・活用の能力、近現代の歴史についての基本的知識を習得する。できごと相互の関係性や現在とのつながりをテーマとして、グループワークや調べ学習を実施する。		知識技能	・近現代の歴史の基礎知識を習得し、現代的な諸課題と結びつける。 ・諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べてまとめる。					
	1. 歴史の扉			思考判断表現	・近現代の歴史の変化の意義や特色などを考察し、文章で表現する。 ・考察や構想したことを効果的に説明し、それらをもとに議論する。				
	2. 近代化 ア 18世紀のアジア・ヨーロッパ イ 産業革命と世界市場の形成				主体的態度	・よりよい社会の実現に対する歴史の意義を把握して、積極的に授業に参加する。 ・グループワーク等に主体的に参加する。			
	3. 国際秩序の変化と大衆化 ア 大衆社会の時代 イ 第一次世界大戦 ウ 戦間期と世界恐慌 エ 第二次世界大戦・太平洋戦争		評価観点	・よりよい社会の実現に対する歴史の意義を把握して、積極的に授業に参加する。 ・グループワーク等に主体的に参加する。					
4. グローバル化 ア 冷戦と世界経済 イ 世界秩序の変容と地域紛争 ウ 現代の諸課題		評価方法		・期末考査 ・小テスト ・提出物 ・授業への取り組み（ルーブリック評価）					
前年度履修すべき科目			なし						
継続して履修すべき科目		なし							

教科	科目	単位数	開講学年	必修/選択	授業形態				
					講義	演習	実習	その他	
公民	政治・経済	2	4	必修	○	○		○	
教材費・準備物等			進路・資格・興味・関心など						
教科書、タブレット			政治・経済、国際政治・国際経済など学ぶ。NIEを活用した時事問題の把握を行う。大学受験入試科目、就職試験における一般教養対策としても活用できる。						
科目概要	日本の政治・経済、国際政治・国際経済の4分野について学ぶ。また、現代の諸課題についての探究学習やNIE (Newspaper in Education) を実施する。		知識技能	・政治、経済分野の基礎知識を習得し、社会の在り方に関わる概念や理論を理解する。 ・NIEなどにより、資料を適切に調べ情報をまとめる技能を身に付ける。					
	1. 現代日本の政治 ア 民主政治 イ 憲法 ウ 政治制度と政治参加			思考判断表現	・政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会の課題を把握して説明する。 ・議論などを通して、公正に判断して、合意形成に向かう力を身に付ける。				
	2. 現代日本の経済 ア 経済活動、財政 イ 福祉				主体的態度	・社会の形成者として必要な知識や考え方などを得るために、積極的に授業に参加する。 ・グループワークやNIEなどにおいて、主体的に活動する。			
	3. 現代日本における諸課題 4. 国際政治 5. 国際経済 ア. 貿易、国際収支、為替 イ. 国際経済の歩み 6. 国際社会における諸課題		評価観点	・社会の形成者として必要な知識や考え方などを得るために、積極的に授業に参加する。 ・グループワークやNIEなどにおいて、主体的に活動する。					
前年度履修すべき科目		なし							
継続して履修すべき科目		なし							
			評価方法	・期末考査 ・小テスト ・提出物 ・授業への取り組み（ルーブリック評価）					